

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、足立医療センター産婦人科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 再発卵巣癌に対する二次腫瘍減量手術における腹腔洗浄細胞診の臨床的意義に関する研究

[研究対象者]

2007年8月～2022年12月までの間に、卵巣癌/腹膜癌/卵管癌の診断で、東京女子医科大学附属足立医療センター（旧東医療センター）産婦人科で治療を受けた患者さんのうち、腹腔内に再発を認め二次腫瘍減量手術：secondary debulking surgery (SDS)を受けた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、組織型、進行期、初回手術情報（術前化学療法の有無、残存腫瘍の有無）、治療後再発までの期間、1次再発か2次再発か、SDS前の化学療法の有無、SDS時のPS、腹水の有無、SDS時洗浄細胞診の結果、SDSにおける残存腫瘍の有無、SDS後の治療内容、SDS後腹腔内再発の有無、その他再発の有無

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

卵巣癌再発患者に対するSDSの治療効果が、腹腔洗浄細胞診の結果による影響を受けるかを検討し、今後の治療に役立てます。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年8月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 足立医療センター産婦人科 特任准教授 長野 浩明

研究内容の問い合わせ担当者：同上

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9時～16時）